

編 集 後 記

長い御療養の甲斐もなく秩父宮殿下御薨去になり哀悼にたえぬ所であるが、率先平民的であられた殿下の御逸話をうかがうにつけ今更乍ら感慨深いものがある。殊に生前の御遺志によつて病理解剖を御許可になつた事は、一般の病理解剖を促進して我国医学の進歩の上に測り知れぬ好影響をもたらすものと思われ、殿下が身を以て病と闘われてこの御決心をせられた御心をたいして我々病院関係者も一層の努力を致すべきものと考え。

×

×

停電だ、石炭ストだと相変らず暗い冬で、病院は照明や暖房のみでなく電気冷蔵庫・洗濯機・エレベーター・揚水ポンプ・鉄の肺・電気メス・コールドシステム等、あらゆる部面で不自由をこうむつた。殊に齒科診療はてんで仕事にならぬ始末であつた。近代病院の近代医療に於ては電気の供給の安定性というものはその設計上の前提条件である事からも、もつと真剣な考慮を要する様だ。

×

×

従来海外情報もアメリカ一辺倒にいたささか食傷気味であつたが、今回医師会代表として欧米を廻つて来られた塩沢院長の講演をいただき、我々の欧州情報への渴をいやしていただいたわけで、大いに得る所が多い。殊にイタリア等の日本にやや事情の類似した国でさえドシドシとよい病院をつくつて前進している様子が覗かれ、従来の「アメリカとは国力がちがうから」といつた様な逃辞が通用しないこととなつてきた。我々も大いに鞭をしめなおさぬ事には世界においてきばりをくうにちがいない。

上田氏の研究は病院の設計例えば窓や天井の高さ、病室の広さ、スクリーンの大きさ等々の基礎をなす寝台を先ずきめてゆくという点から重要なものである。

この中にも暗示された様に病院というものは患者の安樂を主としてその従来の環境の習慣に甚だしい変化をつけぬ事が必要であるが、又一面看護給食等が、積極的の診療手段として患者の生活を

是正し、よい習慣をもたせる様に教育する事が重要となつてきている。患者環境の一つである寝台についてもどの程度迄この様な積極面を考えるかという事が問題になつてくる。即ち患者の診療と衛生のために積極的によいと思われるものであれば、看護給食等と同様に環境整備の面についても積極的に指導してよいわけである。子供が病院をして平生の偏食癖がとれ、規則的の生活、清潔な環境の習慣を得てくる事によい事であつて、わざわざ入院前の生活を病院でつづけさせる必要はないであろう。只ここに注意すべきはこの積極的教育を推進する速度を病症の軽重によつて加減する事と、一度教育しても退院後は又入院前と変りにくいものもある事を考えておく事である。

木村氏の医療社会事業の實際知識は沿革より組織・活動に及んでいるが、次回には事例に入る予定である。

今村氏は先月迄の小児病室に関する諸研究について今月は空気調整について述べ、岩佐氏の病院に関する論文は病院の社会学と云うべきものであらう。

本月より小川氏訳の「病院の設計と構造」は看護単位 **Nursing Unit** に入つてきた。看護単位は病院設計の中核であつて、これが設計は診療看護給食入退院事務等の諸業務の総合的協力と建築技術との渾然たる共同作業によつて始めて完成されるべきものであつて、病院の理解は看護単位に始まると云つても過言ではない。筆者も嘗つて本誌5巻3-4号に書いた事があるが、今後は我が国に適したものが研究完成されてゆく事が望ましい。(島内)

●表紙説明

写真は「長い間臥していた患者さんを今日は三輪車にのせて散歩におつれしましょう」と日赤女子専門学校での患者さんの運び方の練習風景